

令和8年3月17日

北海道教育委員会教育長 様

北海道弟子屈高等学校長 伊 東 文 人

次のとおり令和7年度（2025年度）の学校評価について報告します。

## 1. 学校教育目標

- ① 郷土を愛したくましく生きよう ② 自ら学ぶ意欲を持ちつづけよう

## 2. 目指す学校像（スクールミッション）

地域（唯一）の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創っていく生徒の育成

## 3. 目指す生徒像

- ① 挑戦する生徒（郷土を愛するとともに、たくましい未来を切り拓く生徒）  
 ② 自律する生徒（自ら学ぶ意欲を持ち、目標に向かって挑戦し続ける生徒）  
 ③ 感化し合う生徒（自他の命を尊重し、互いに思いやり、高め合う生徒）

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年踏襲とならないよう改善が必要。</li> <li>シラバスの具体的な活用方法を協議し、全体に周知・実施することが必要。</li> <li>資格取得や進路実現の目標を明確にする。受検者の減少に対して随時声掛けを行う必要がある。</li> <li>地域のニーズの把握が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地学協働のさらなる推進を踏まえ学校関係者に向けた定期的な公開授業等の取組を望む。</li> <li>成果と課題、改善の方策が適切に分析されている。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善のどこに焦点をあてるのかを定め、結果の共有について取り組みを進める。</li> <li>授業の評価基準を提示するためのシラバスの活用について、検討課題とする。</li> <li>授業外学習時間の増加や資格取得については、高校在学中に意義を理解させていく。</li> <li>ワーキンググループでの取り組みを継続しながら、地域の要望だけでなく協働・共創の観点から取り組みを進める。</li> </ul>	
生徒指導（いじめ問題への対応を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>あらゆる場面で生徒指導・支援が必要である。生徒指導・支援に関わる研鑽を積む、もしくは、生徒の対応について教員間で相談できる体制を整える。</li> <li>授業規律や休み時間などで、未然防止の観点から指導を日々心がける必要がある。</li> <li>保護者や地域と共有するため、HPや懇親会等で周知していくことが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>弟高生の明るさとエネルギーが存分に感じられた1年であった。</li> <li>成果と課題、改善の方策が適切に分析されている。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後もあらゆる機会をとおして、職員全体が共通認識のもと対応できる環境を整える。</li> <li>今後も生徒会を中心に、学校づくりに生徒が関わる機会を設ける。</li> <li>今後も生徒が地域社会に貢献できるよう、ワーキンググループや地学協働コーディネーター等を活用し積極的に取り組んでいく。</li> <li>いじめ防止基本方針に基づいた組織的な対応について全職員で再確認する。</li> <li>いじめの早期発見のために、学年、教育相談委員会等との連携・仕組みを再確認すると同時に、職員間での情報共有を徹底する。</li> <li>地域や家庭と連携しながらいじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組む観点から、今後も外部に向けての情報提供に努める。</li> </ul>	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学する生徒に対して、1年生から3年生までの連続した指導が必要である。</li> <li>十分機会は設けられているが、教員・生徒ともに学習の目的に対して認識をもつことが大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公設塾や地域と連携しつつ、丁寧な進路指導が行われている。</li> <li>生徒の進路希望が99%叶っており、すばらしいと感じた。</li> <li>塾との連携をきめ細かく行うべき。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度以降の計画について、3年間を見通した取組を、学校全体で再確認する。</li> <li>キャリア教育の方針に基づいた計画を共通理解のもとに指導できるようにする。</li> </ul>	

健康安全指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね良好である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果と課題、改善の方策が適切に分析されている。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの取り組みに加え、クラスルームでの情報提供も併せながら健康管理に努める。</li> <li>第2回の防災訓練に体験的な活動を取り入れ、生徒の防災意識の向上を促した。今後も継続して実施する。</li> </ul>	
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の効率化は随時図られて、一定の成果は挙げられた。一方、勤務時間を意識した取組は十分ではない。</li> <li>次年度以降も含め、委員会構成や業務分担の見直しをはかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少ない教員数で大変かと思いますが、遅い時間や休日も働いている様子が見られますので、体調を崩さないか心配しています。</li> <li>校長の「何より、教職員の幸せが一番で頑張ってきた」との一言が感動・感激した。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育活動の目標達成度の視点から、働き方に関する研修会を実施し、スクラップ&amp;ビルド等の見直しを行う必要がある。</li> <li>定期的に声かけを行い、勤務時間に対して意識を徹底させる。</li> </ul>	
信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPやSNS等の周知が不十分。明確に役割として人員を配置することも検討すべき。</li> <li>生徒指導においては、早期に中学校との情報共有を心がける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信がやや不足している。</li> <li>現在も取り組んでいらっしゃると思うが、さらに弟高の活動がより広くより深く地域（小学校にも）届くと良いと思う。</li> <li>小中高連携には期待しています。地域側としても、先生型の過度な負担にならないよう気をつけます。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後はSNSも含め、こまめな情報発信に努める。</li> <li>小中高連携会議への参加などをおして「地域の子どもは地域で育てる」意識を高めていく。</li> <li>職員の超過勤務とならないように継続して、地域とともに教育活動を実践していく。</li> </ul>	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校像・生徒像を意識した指導、授業内容が必ずしも達成されているとは言えない。今後校内研修を含め、認識の共有と具体的な方策の取りまとめ等が必要。</li> <li>職員室で情報が回りにくい。日常会話を増やす必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果と課題、改善の方策が適切に分析されている。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>育成する生徒像を明確にし、グランドデザインをもとに教育活動に結びつける。</li> <li>課題把握・共有の具体化を図り、分掌・学年と連携し早期解決に向け取り組む。</li> <li>職員が意見を交わしやすい職員室づくりを進める</li> <li>ワーキンググループもあり、連携が深まっている。教員側がもっと塾に立ち寄るなどして情報共有を行う。</li> </ul>	
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業評価アンケートをもとにした授業改善を意識する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展望や目標を描き、言葉で表すのは簡単ですが、弟高はそれを実行し、成果と成長をしっかりととげており、すばらしいと感じた。</li> <li>成果と課題、改善の方策が適切に分析されている。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も機会あるごとに服務規律の遵守について啓発していく。</li> <li>課題把握・共有の具体化を図り、分掌・学年と連携し早期解決に向け取り組む。</li> <li>公開授業週間を効果的に活用することによって、他教科からの情報収集を図る。</li> <li>研修成果を教員間でも共有し、教員の生徒への指導力向上に努める。</li> </ul>	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校ホームページ</li> </ul>	

### 3 添付資料

- (1) 令和7年度 (2025年度) 学校自己評価表
- (2) 令和7年度 (2025年度) 学校評価 (学校関係者評価書)
- (3) 令和7年度 (2025年度) 保護者アンケート集計結果